

2 イネ

ICS 65.020.20

B 05

GB

中華人民共和國國家標準

GB/T 19557.7-××××

植物新品種の区別性、均一性、安定性 に関する審査基準 稲種

Guidelines for the conduct of tests for distinctness,
uniformity and stability

Rice

(*Oryza sativa* L.)

(UPOV : TG/16/8, Guidelines for the conduct of tests for
distinctness,

uniformity and stability-Rice, NEQ)

××××-××-××発表

×××

×-××-××実施

中華人民共和國國家質量監督檢驗檢疫總局

中国国家標準化管理委员会 より

目 次

序文

- 1 対象
- 2 規範性の引用文献
- 3 専門用語及び定義
- 4 符号
- 5 種苗に関する要求
- 6 測定方法
- 7 区別性、均一性、安定性の結果に関する判定
- 8 特性表
- 9 グループ分けの形質
- 10 特性調査表

附録 A（規範性附録）稲種形質一覧表

附録 B（規範性附録）稲種形質一覧表の解釈

附録 C（規範性附録）稲種特性調査表

序 文

本標準は GB/T 1.1-2009 の規則に基づいて起草されたものである。

本標準は改めて起草する方法で、国際植物新品種保護連盟 (UPOV) のガイドライン「TG/16/8, Guidelines for the conduct of tests for distinctness, uniformity and stability-Rice」を修正し、採用した。

本標準は UPOV ガイドライン TG/16/8 に対応する。本標準は TG/16/8 との一致性程度は非同等である。

本標準は UPOV ガイドライン TG/16/8 と比べれば、技術的な差異が存在する。主な差異は次に上げるとおりである：

—「第2葉：姿勢」、「第2葉：葉舌の長さ」、「止め葉：葉の巻き型」、「花葯：形」、「花葯：色」、「花葯：不稔花粉タイプ」、「穂：柱頭総露出率」、「稈：基部稈節包露」、「止め葉：葉の長さ」、「止め葉：葉の幅」、「穂：各穂の粒の数」、「穂：結実率」、「穀粒：形」、「抵抗性：白葉枯病」という 14 の形質を追加した；

—「しょう葉：シアニングリコシド着色強度」、「第2葉：葉とシアニングリコシド着色分布」、「第2葉：しょう葉シアニングリコシド着色」、「第2葉：しょう葉シアニングリコシド発色強度」、「第2葉：葉枕シアニングリコシド発色」、「第2葉：葉舌の色」、「第2葉：葉の長さ」、「第2葉：葉の幅」、「茎：曲げ向上生長能力」、「花葯：雄性不稔性」、「小穂：初期の外穎のキールのアントシアニン着色の強弱」、「小穂：初期の外穎頂部下のアントシアニン着色の強弱」、「稈の節のアントシアニン着色の強弱」、「小穂：外穎先端の色」、「穂の二次枝梗」、「成熟期」、「葉：後期の効能葉の枯れ上がりの時期」、「小穂：後期の外穎のキールのアントシアニン着色の強弱」、「小穂：後期の外穎頂部下のアントシアニン着色の強弱」、「小穂：護穎色」という 21 の形質を削除した；

—「第2葉：葉の毛じの密度」、「穂：初期の芒の色」、「小穂：外穎毛じの密度」、「穂：二次枝梗タイプ」、「穂：抽出度」、「精米：アミロース含量」という六つの形質を調整した。

本標準が GB/T 19557.7-2004『植物新品種区別性、均一性、安定性の測定ガイドライン 稲種』の改正版である。

本標準が GB/T 19557.7-2004 の代わりとなる。本標準が GB/T 19557.7-2004 と比べ、下記の変化がある。

—「第2葉：葉の緑色の程度」、「第2葉：葉シアニングリコシド発色」、「出穂期」、「穂：芒」、「穂：芒の色（初期）」、「小穂：初期の外穎頂部下のアントシアニン着色の強弱」、「穀粒：外穎修飾色」、「小穂：後期の外穎頂部下のアントシアニン着色の強弱」、「玄米：香り」、「穀粒：外穎フェノール反応」、「穀粒：外穎フェノール反応強度」、「精米：胚乳のタイプ」、「精米：アミロース含量」、「精米：アルカリ消値」、「抵抗性：白葉枯病」という 15 の形質を追加した。

—「芽しょう色」、「葉色」、「第二葉の長さ」、「第二葉の幅」、「第二葉の舌の色」、「第二葉枕の色」、「開穎の角度」、「開穎の時間」、「花時期の範囲」、「花時期のピーク」、「花粉不稔度」、「片柱頭の外露出率」、「柱頭双外露出率」、「稈節間の色」、「主茎葉の数」、「稈潜伏芽の活力」、「落粒性」、「穎の頂部の色」、「護穎色」、「不

稔株率」、「不稔系の回復可能性」、「回復系の回復力」、「不稔系の異交結実率」、「親和性」、「親和性スペクトル」、「連続不稔期」、「不稔性」、「繁殖可能性」、「抗いもち病」、「抗紋枯病」、「抗ニカメイチュウ」、「抗サンカメイチュウ」という 32 の形質を削除した；

—「第 2 葉：葉耳シアニングリコシド発色」、「第 2 葉：葉舌の長さ」、「第 2 葉：葉舌の形」、「稈：節シアニングリコシド発色」、「穂：芒の分布」、「穂：芒の色（後期）」、「穂：抽出度」、「穂：二次枝梗のタイプ」、「玄米：色」という 9 つの形質を調整した。

本標準は中華人民共和國農業部市場と經濟情報司と科技教育司により提出された。

本標準は全國植物新品種テスト標準化技術委員會（SAC/TC 277）により管理される。

本標準の作成に参加した団体：中国水稻研究所、農業部科技發展センター、華南農業大学、吉林省農業科学院。

本標準の主な作成者：魏興華、呂波、余漢勇、堵苑苑、陳能、任永浩、王鳳華。

本標準の發表狀況：

GB/T 19557.7-2004『植物新品種區別性、均一性、安定性の測定ガイドライン 稻種』は 2004 年 6 月 11 日に中華人民共和國国家質量監督檢驗檢疫總局と中国国家標準化管理委員會によって發表され、2004 年 12 月 1 日より実施される。

植物新品種の区別性、均一性、安定性の測定ガイドライン 稲種

1 対象

本標準は稲種 (*Oryza sativa* L.) 新品種の区別性、均一性、安定性の測定技術要求と結果判定の一般的な原則を規定する。

本標準は稲種属新品種の区別性、均一性、安定性の測定と結果判定に適用する。

2 規範性の引用文献

次に挙げる文献は本標準の応用にとって不可欠なものである。期日を注釈した引用文献について、期日を注釈したバージョンのみを本標準に適用する。期日を注釈しない引用文献について、その最新バージョン（すべての更新履歴を含む）を本標準に適用する。

GB/T 3543.6 農作物種子検閲規程 水分測定

GB 4404.1 穀物種子 穀物類

GB/T 15683 米 アミロースの測定

GB/T 19557.1 植物新品種の区別性、均一性、安定性の測定ガイドライン 総則

NY 83 米の品質測定方法

3 専門用語及び定義

GB/T 19557.1 で決めたモノ、及び次にあげる専門用語と定義を本標準に適用する。

3.1 群体測定 single measurement of a group of plants or parts of plants

一ロットの植物体又は植物体のある器官又は一部に対し、テストを行い、集団として測定記録を獲得する。

3.2 個体測定 measurement of a number of individual plants or parts of plants

一ロットの植物体又は植物体のある器官又は一部に対し、テストを行い、個々の測定記録を獲得する。

3.3 群体調査 visual assessment by a single observation of a group of plants or parts of plants

一ロットの植物体又は植物体のある器官又は一部に対し、調査を行い、集団として調査記録を獲得する。

3.4 個体調査 visual assessment by observation of individual plants or parts of plants

一ロットの植物体又は植物体のある器官又は一部に対し、調査を行い、個々の調査記録を獲得する。

4 符号

下記符号は本標準に適用する。

MG：植物体あるいは植物体の一部を集団として測定記録

MS：植物体あるいは植物体の一部の個々の測定記録

VG：植物体あるいは植物体の一部を集団として調査記録

VS：植物体あるいは植物体の一部の個々の調査記録

QL：質的形質

QN：量的形質

PQ：擬似の質的形質

*印を標記した形質は、UP0V が品種の記述のために、統一して使っている重要な形質である。すべての UP0V メンバーはこれらの形質を使用しなければならない。環境条件の制限で形質を測定できない場合を除く。

(+)：標記された内容について、詳しくは付録BのB.2を参照してください。

—：本標準において、アンダーラインは形質を測定する適用範囲を特別に提示するものである。

5 種苗に関する要求

5.1 種苗は種子の形で提供される。

5.2 提出する種苗の数量は少なくとも 2kg。交雑種の場合、必要な時親の種を各 0.5kg を提出する。

5.3 提出する種苗は外観がよく、健全で、活力に満ち、病害虫に汚染されていない。提出する種苗に関する具体的な質量の要求は下記のとおりである。

品種のタイプ	透明度(%)	発芽率(%)	含水量(%)
通常種	≥98.0	≥85	≤13.0 (籼) ≤14.5 (粳)
不稔系 保持系 回復系 交雑種	≥98.0	≥80	≤13.0

5.4 提出する種苗について、通常では、正常的に品種形質を表現することに影響するほどの処理(例えば種子の被膜処理)を行わないこと。すでに処理された場合、詳しい説明を提供すること。

5.5 提出する種苗は中国植物検疫に関する規定に合致しなければならない。

6 測定方法

6.1 測定周期

測定周期は少なくとも二つの独立的な生育周期である。

6.2 測定地

測定は通常では同一の場所で行われる。当地点ではある形質を十分に表すことができない場合、他の条件に符合する場所で調査を行うことが出来る。

6.3 栽培試験

6.3.1 試験の設計

出願品種と類似品種を隣接して栽培する。

育苗移植で栽培する。それぞれの区に少なくとも 200 株とする。

6.3.2 栽培管理

当地の圃場生育管理方法で管理する。それぞれの区の管理方法が厳格に同一であり、同一の管理措置が同日に完成しなければならない。

6.4 形質調査

6.4.1 調査の時期

表 A.1 と表 A.2 にリストアップされた生育段階に従って形質調査を行う。生育段階に関する記述は表 B.1 を参照してください。

6.4.2 調査方法

表 A に規定された調査方法 (VG、VS、MG、MS) によって、形質調査を行う。一部の形質の調査方法について、B.2 及び B.3 を参照してください。

6.4.3 調査数量

特に指示がない限り、個体の形質調査 (VS、MS) の調査個体数は 20 個以上である。植物体の器官又は一部の調査にあたって、各植物体の調査数は一個である。群体の形質調査 (VG、MG) の場合、全区又は規定された範囲内の混合サンプルを調査する。

6.5 追加測定

必要な場合、表 A.2 でリストアップされた形質又は本標準にリストアップされていない形質を選択し、追加測定を行う。

7 区別性、均一性、安定性の結果に関する判定

7.1 全体的な原則

区別性、均一性、安定性の判定は GB/T 19557.1 によって確定された原則で行われる。

7.2 区別性の判定

出願品種は明らかにすべての既存品種と区別しなければならない。測定で、出願品種が少なくとも一つの形質について、類似品種と明らかで再現できる差異が存在する場合、出願品種が区別性を有すると判定できる。

7.3 均一性の判定

7.3.1 均一性については、固定品種の場合、0.1%の群体標準と少なくとも 95%の許容率を採用する。供試個体数は 356～818 株の場合、許容される異型個体数は 2 株である。

7.3.2 交雑品種と不稔系の場合、1%の群体標準と少なくとも 95%の許容率を採用する。供試個体数は 400～471 株の場合、許容される異型個体数は 8 株である。

7.4 安定性の判定

一の品種に均一性を有するなら、当品種に安定性を有すると判定できる。通常では、安定性について、測定を行わない。

必要な場合、固定品種は当該品種の次の世代の種子を栽培することができる。前に提出された種苗と比べ、もし形質の現われ方に明らかな変化が無い場合、当該品種には安定性を有すると判定できる。

交雑品種と他の不稔系の均一性判定に関して、交雑品種と他の不稔系品種そのものについて測定する他、その親系に対して均一性又は安定性を測定することができる。

8 特性表

測定の必要によって、形質は基本形質と選択可能形質に分ける。基本形質とは、測定に必ず使用する形質である。基本形質について、表 A.1 を参照してください。選択可能形質について、表 A.2 を参照してください。

8.1 要約

特性表において、形質、分類、状態及び対応の階級及び標準品種、調査時期と方法などの内容をリストアップした。

8.2 分類

特性の表す方式によって、形質は質的形質、擬似の質的形質及び量的形質という三つのタイプに分けている。

8.3 状態及び対応の階級

8.3.1 形質の定義と記述の規範のため、各形質は一連の状態に分けている。データの記録、処理、品種記述の作成及び交流のため、各状態が相応の階級を有する。

8.3.2 質的形質と擬似の質的形質について、すべての状態は測定ガイドラインで記述しなければならない：量的形質について、特性表の長さを縮めるため、偶数の階級の状態をリストアップしなくても結構。偶数の階級の状態について、前の状態から次の状態への形で表現できる。

8.4 標準品種

関連の形質のそれぞれの状態を確定するため、環境の原因で引き起こした差異を修正するため、特性表に、一部の形質状態について、参考できる標準品種をリストアップした。

9 グループ分けの形質

本標準において、品種が下記形質によってグループ分けをする。

- a) 第二葉（top second leaf）：葉耳のアントシアニン着色の有無(形質 7)
- b) 出穂期（形質 10）
- c) 非深水稻の品種のみに適用する：稈の長さ（浮稲品種を除く）（形質 23）
- d) 玄米の長さ（形質 48）
- e) 玄米の色（形質 51）
- f) 玄米の香り（形質 52）

10 特性調査表

出願人は附録 C のフォーマットで稲種の特性調査表を記入する。

附録 A
(規範性附録)

稻種形質一覽表

A.1 稻種の基本形質

番号	形質	観測時期 と方法	状態	標準品種	階級
1	*基部葉：しょう葉 の色 PQ	26 VG	緑	合江 18, Dasanbyeon 1	1
			緑に紫の条	元子占稻	2
			淡紫	Heuknambyeon	3
			紫	竹雲糯	4
2	植物体：草型 QN (+)	40 VG	直立	合江 18, Dasanbyeon 1	1
			半直立	陸川早 1	3
			開		5
			開張		7
			ほふく	盤蝶谷 9	9
3	第二葉：葉の緑色 の濃淡 QN	45 VG	極淡		1
			淡	輪廻 1	3
			中	Dasanbyeon	5
			濃	CPY 2199	7
			極濃	花溪簡稻	9
4	第二葉：葉のアントシ アニン着色の有無 QL	45 VG	無	合江18, Dasanbyeon	1
			有	紫香糯, 陸川早 1 号	9
5	第二葉：姿勢 QN	45 VG	直立	モクセイの黄	1
			半直立		3
			水平	Sariqueen	5
			反曲	麗江新団黒谷	7
6	第二葉：葉身表面 の毛じの粗密 QN	45 VG	無又は極粗	ばつ輪稻	1
			粗	広陸矮 4 号	3
			中	浙場 9 号	5
			密	矮糯	7
			極密	川 7 号, Yumetoiro	9
7	*第二葉：葉耳のアントシ アニン着色の有無 QL	45 VG	無	合江 18, Dasanbyeon	1
			有	竹雲糯, Asamurasaki	9

番号	形質	観測時期 と方法	状態	標準品種	階級
8	第二葉：葉舌の長さ QN	45 VG	短	米粒	3
			中	Asamurasaki	5
			長	浙場9号	7
9	第二葉：葉舌の形 PQ (+)	45 VG	切形		1
			鋭形	三粒寸	2
			裂形	Dasanbyeon	3
10	*出穂期 QN (+)	55 MG	極早		1
			早	雨粒	3
			中	浙場9号	5
			晩	Sariqueen	7
			極晩	紅殻老来青	9
11	*止め葉：姿勢（初期） QN (+)	60 VG	直立	モクセイの黄，IR 30	1
			半直立	Heuknambyeon	3
			水平	元子占稻，Daelip 1	5
			反曲	麗江新団黒谷	7
12	穂：芒の有無 QL	60 VG	無	広陸矮4号，Dasanbyeon	1
			有	モクセイの黄， Tsukushiakamochi	9
13	<u>芒の有る品種のみに適用する</u> ：穂：芒の色（初期） PQ	60 VG	白色		1
			淡黄	モクセイの黄	2
			黄色		3
			褐		4
			赤褐	紅殻老来青	5
			淡赤		6
			赤	Tsukushiakamochi	7
			淡紫		8
			紫	Beniroman	9
			黒	黒龍黒米	10
14	止め葉：葉の曲げ タイプ PQ (+)		曲げない又はわずかに曲げる	広陸矮4号，モクセイの黄	1
			正巻	花溪簡稻，CPY 2199	2
			反巻	竹雲糯	3
			螺旋状		4

番号	形質	観測時期 と方法	状態	標準品種	階級
15	<u>不稔系品種のみに 適用する：葯の形</u> PQ	65 VG	細い棒状		1
			水濡れ状	協青早A	2
			旺盛状		3
16	<u>不稔系品種のみに 適用する：葯の色</u> PQ		白色又は乳 白色	協青早A	1
			淡黄		2
			中等黄色		3
17	<u>不稔系品種のみに 適用する：葯：不 稔花粉タイプ</u> PQ (+)		花粉無しタ イプ		1
			典敗型	協青早A	2
			円敗型		3
			染敗型		4
18	*初期の外穎のキ ールのアントシア ニン着色の強弱 QN		無又は極弱	広陸矮4号, Dasanbyeo	1
			弱	紅殻老来青	3
			中	陸川早1号	5
			強		7
			極強	Heuknambyeo	9
19	*小穂：柱頭色 PQ		白色	合江18, Dasanbyeo	1
			淡緑		2
			黄色		3
			淡紫	Asamurasaki	4
			紫	竹雲糯, 協青早A	5
20	<u>不稔系品種のみに 適用する：穂：柱 頭総露出率</u> QN (+)		極低		1
			底		3
			中	協青早A	5
			高	培矮64S	7
			極高		9
21	植株：各株の穂の 数		極少		1
			少	Asamurasaki	3
			中		5
			多	陸川早1号	7
			極多	丛矮2号	9
22	稈：直径 QN (+)		極細		1
			細	丛矮2号	3
			中	広陸矮4号, Yumetoiro	5
			太	浙場9号	7
			極太		9

番号	形質	観測時期 と方法	状態	標準品種	階級
23	<u>*非浮稲品種のみ に適用する：稈： 長さ（穂を除く）</u> QN		極短	99Z-239	1
			短		3
			中	麗水糯	5
			長	川7号	7
			極長		9
24	稈：基部茎節包露 QL		包	Asamurasaki, Dasanbyeon	1
			露	白芒稻, 黒龍黒米	9
25	<u>*稈：節間アントシ アニン着色の有無</u> QL	70 VG	有	合江18, Dasanbyeon	1
			無	紫香糯	9
26	<u>*芒のある品種の みに適用する：</u> 穂：芒分布 PQ	70-80 VG	頂部	紫香糯	1
			上部1/4		2
			上部1/2	モクセイの黄	3
			上部	白芒稻	4
			穂全部	Tsukushiakamochi	5
27	<u>芒のある品種のみ に適用する：穂：</u> 最長芒の長さ QN	70-80 VG	極短	Asamurasaki	1
			短		3
			中長	当地水稻	5
			長		7
			極長	Tsukushiakamochi	9
28	<u>*小穂：外穎の毛じ の粗密</u> QN	70-80 VG	無又は極粗	ばつ輪稻	1
			粗	広陸矮4号	3
			中	合江18	5
			密	モクセイの黄	7
			極密	Sariqueen	9
29	止め葉：葉の長さ QN		極短		1
			短	モクセイの黄	3
			中	Yumetoiro	5
			長	浙場9号	7
			極長	川7号	9
30	止め葉：葉の幅 QN		狭	雨粒	3
			中	当地水稻	5
			広	矮糯	7
31	<u>*止め葉：姿勢（後 期）</u> QN (+)		直立	Yumetoiro, IR 30	1
			半直立	矮糯	3
			水平	Koshihikari, Sariqueen	5
			反曲	Daelip 1, 麗江新団黒谷	7

番号	形質	観測時期 と方法	状態	標準品種	階級
32	<u>芒のある品種のみ</u> に適用する：穂： 芒の色（後期） PQ		淡黄		1
			黄色		
			褐		
			赤褐	紅殻老来青	
			淡赤		
			赤		3
			淡紫		5
			紫	Tsukushiakamochi	7
			黒	紫香糯	9
33	*穂：姿勢 PQ (+)		直立	特矮选	1
			半直立		2
			軽度下曲げ	モクセイの黄	3
			強烈下曲げ	浙場9号, Dasanbyeon	4
34	穂の二次枝梗の有 無 QN (+)		少	丛矮2号	1
			中		2
			多	矮糯	3
35	穂の二次枝梗の向 き QN (+)		直立	モクセイの黄	1
			半直立	広陸矮4号, Dasanbyeon	3
			散形	陸川早1号, IR 30	5
36	穂：抽出度 PQ (+)		非抽出		1
			一部抽出	協青早 A	2
			やや抽出		3
			普通の抽出	特矮选, 花溪簡稻	4
			やや良好な 抽出	Dasanbyeon	5
			良好な抽出	麗江新団黒谷	6
37	*穂：長さ QN (+)		極短		1
			短	雨粒	3
			中	陸川早1号, 元子占稻	5
			長		7
			極長		9
38	*穂：每穂粒数 QN (+)		極少		1
			少	三粒寸, Heuknambyeon	3
			中	広陸矮4号, Asamurasaki	5
			多		7
			極多		9

番号	形質	観測時期 と方法	状態	標準品種	階級
39	穂：結実率 QN		実らない又は極低		1
			低		3
			中	Kusahonami	5
			高	Dasanbyeon	7
			極高	広陸矮4号	9
40	小穂：後期の外穎 頂部のアントシア ニン着色の強弱 QN		無又は極弱	広陸矮4号, Dasanbyeon	1
			弱		3
			中	ばつ輪稲	5
			強	竹雲糯	7
			極強	元子占稻, Asamurasaki	9
41	小穂：護穎の長さ QN		極短		1
			短	特矮選, 川7号	3
			中	浙場9号	5
			長	三粒寸	7
			極長	稻翅	9
42	粳：外穎の色 PQ		淡黄	広陸矮4号, Dasanbyeon	1
			黄金色	川7号, 陸川早1号	2
			褐		3
			淡紫赤		4
			紫	麗江新団黒谷	5
			黒	紫香糯	6
43	粳：外穎の模様 PQ		無	広陸矮4号, Dasanbyeon	1
			金黄色条紋	ばつ輪稲	2
			褐条紋		3
			紫斑点		4
			紫条紋		5
44	粳：千粒重 QN (+)		極小		1
			小	特矮選, Sariqueen	3
			中	浙場9号, モクセイの黄	5
			大	白芒稻	7
			極大	三粒寸, Daelip 1	9
45	粳：長さ QN		極短		1
			短	99Z-239	3
			中	Beniroman	5
			長	Dasanbyeon	7
			極長	三粒寸	9

番号	形質	観測時期 と方法	状態	標準品種	階級
46	穀粒の幅 QN		極狭		1
			狭		3
			中	麗水糯	5
			広	元子占稻	7
			極広		9
47	穀粒：形 PQ		短円形	99Z-239	1
			広卵形	ばつ輪稻	2
			楕円形	Heuknambyeo	3
			細長形	麗水糯	4
48	*玄米：長さ QN		極短	99Z-239	1
			短	広陸矮4号	3
			中	陸川早1号, Dasanbyeo	5
			長	竹雲糯	7
			極長	三粒寸	9
49	玄米の幅 QN		狭		3
			中	陸川早1号	5
			広	Daelip 1	7
50	*玄米：形 PQ (+)		近円形	特矮选, Beniroman	1
			楕円形	広陸矮4号, Asamurasaki	2
			半紡錘形	Yumetoiro	3
			紡錘形	麗水糯	4
			長紡錘形		5
51	*玄米：色 PQ		白色	麗水糯	1
			淡褐	広陸矮4号, 合江18	2
			褐斑		3
			暗褐		4
			淡赤	三粒寸	5
			赤	Beniroman	6
			紫斑	Heuknambyeo	7
			紫		8
			紫黒	紫香糯	9
52	*玄米：香り QN (+)	92 VG	無又は極弱	広陸矮4号, 合江18	1
			弱		2
			強	紫香糯	3
53	穀粒：外穎の色フ ェノール反応 QL (+)	92 VG	無	モクセイの黄, Koshihikari	1
			有	広陸矮4号, Dasanbyeo	2

番号	形質	観測時期 と方法	状態	標準品種	階級
54	粳：外穎の色フェ ノール反応強度 QN (+)	92 VG	極弱		1
			弱		3
			中	広陸矮4号	5
			強	Dasanbyeon	7
			極強		9
55	精米：胚乳の型PQ (+)	92 VG	糯	麗水糯	1
			半糯		2
			粳	広陸矮4号	3
56	精米：アミロース 含有量 QN (+)	92 MG	無又は極低		1
			低		3
			中		5
			高		7
			極高		9
57	精米：アルカリ崩 壊性 QN (+)	92 VG	無又は極低		1
			低		3
			中		5
			高		7
58	抵抗性：白葉枯病 QN (+)	40 VG	高抵抗性		1
			抵抗性		2
			やや抵抗性		3
			やや感受性		4
			感受性		5
			高感受性		6